

国語科学習指導案

3年2組 笠原 冬星

1. 単元名 ○○について紹介しよう2! 「パンの作り方紹介！」

未来をそうぞうする子どもを育むための「学びの言語の習得と活用」
～言葉における認識の機能とイメージとの関連性について～

2. 単元設定の理由

(1) 単元について

3年生になり、「○○を紹介しよう！」という活動を行い、11月には、いつもお世話になっている「パン屋」のたてものの紹介を行った。

説明するときには、対象を「もの」とした場合と、対象を過程・事象などの「プロセス」とした場合がある。「パン屋」の紹介文をかくときには、対象を「もの」とした場合の説明を行った。そして、自分たちの書いた説明文を友だち(他者)に伝える活動を行った。このときは同学年である3年生に伝える活動を行った。これは、学びの言語を活かした説明文の書き方を知っている学年に行うことにより、適切な意見がもらえるからである。

また、11月には対象が「もの」である説明文と「作り方(順序)」になっている説明文があることも学習をし、「両方が混ざった説明文はないのか」という疑問をもつこともできていた。

本単元では「順序の説明文」を書く活動を行う。本学級では「オリジナルパン」を作ろう!という活動を行っており、各クラスで「マイパン屋」があり、それぞれのお店を紹介する活動を行っている。11月には、「たてものの説明文」をかき、自分たちで売ってお店に対して愛着を持つことができた。今回は、自分たちの売るパン屋さんや、売っているパンについて「もっと知ってもらいたい」という思いがあり、前回お世話になったパン屋さん、パンの作り方をきき、「フランスパンの作り方」の説明文を書くことを行う。今回は「作り方」の説明文を書き、それをパンさんにみてもらって、意見をもらうことを行う。意見をもらうことにより、改めて対象を「捉え直し」伝えかたの「吟味・ねりなおし」をする。このような活動を行うことにより、「説明する」ときに必要なルーティーンの獲得に役立ち、受取手に合わせた説明文を書くことができるようになっていく。

「他者への伝達」する活動を通して、他人の意見に耳を傾け、「説明する」という「学びの言語」を充実させ、今後の学習に活かしてもらいたい。

(2) 単元の目標と、国語科における実践力を発揮している姿

○対象に合わせた説明文を書こうとし、友だちの書いた文章も聞こうとしている。【**学びに向かう力・人間性**】

○「作り方」などの紹介する対象を意識して、「学びの言語」を活かして説明文を書くことができる。

【**思考力・判断力・表現力**】

○「説明する」ときに必要な手順を知り、使うことができる。【**知識・技能**】

☆お店の立場にたって、言葉を工夫し、表現しようとする姿【**協働的实践力**】

(3) 国語の学習と未来そうぞうのつながり

再現性のある文章をつくるためには、他者への伝達といった行為は不可欠である。本単元では、「もの」や「作り方」の紹介(説明)を行う際、他者に伝達する活動を行う過程において協働的实践力が発揮され、対象を再認識する際に「もう一度言葉を考えなおそう(練りなおそう)」とする活動を通して、主体的実践力が発揮されると考える。また、作り方にくい他者(お店の人)に対して説明を行いことにより、より適切なアドバイスをもらうことができ、より「もっとよい文書を書こう」という気持ちが高まり、主体性につながると考えられる。

(4) 活動構成の仮説

仮説 他者との交流を行うことにより、「再認識・再伝達」の活動の充実を図ることができる。

対象の認識が正確にできているかを確認するためには、他者への伝達を行って確かめる必要がある。そこで、「パンを作るときに、作り方を他人へ伝える」といった交流を行うことにより、「もう一度みてみたい（捉え直し）」、「文章を書き直す必要がある（練り直し）」の活動を充実させることができると考える。他者へ紹介する方法としては、「他クラスへの説明」や「ジグソー形式」で行ってきたが、今回はパンの作り方に詳しい人（パン屋さん）から意見をもらえる環境をつくる。

3. 単元計画 全13時間 (時間6 / 13時間)

学習活動の流れと子どもたちの意識の流れ	指導上の留意点	評価
<p>学習の流れをつかむ</p> <p>説明文には「もの」と「作り方」の2種類があることを思い出し、単元のめあてについて考える (1時間)</p> <p>自分たちのオリジナルパンを知ってもらいたいな。</p> <p>「もの」と「作り方」の二通りの説明文があったな。</p>	<p>○学習の見通しをもつ</p> <p>11月には「もの」について説明をしたことを想起させる。</p> <p>今度は「作り方」の説明文のように、過程やプロセスを説明することをを行う。</p> <p>最終的には、上記の両方が組み合わさった説明文について考えさせる。</p>	<p>【学びに向かう力・人間性】</p> <p>□授業中のノートやワークシートを使って評価する。</p> <p>○紹介したいものについて興味をもち、説明に必要なものについて、考えようとしている。</p> <p>□…評価の方法 ○…満足できる姿 ▲…支援を要する姿 ◇…支援の方法</p>
<p>パンの作り方について学ぶ。(2時間)</p> <p>○「パン屋」の説明文について、4年生にみてもらい、意見をもらって、自分たちの文章について練り直しを行う。</p> <p>4年生はお店にいったことがあるから、説明してみたいな。</p> <p>だれにでもわかるようにするには、どんな説明文がいいだろう</p>	<p>○書いた説明文について、意見をもらうには、書き方を知っている人にきいてもらうことが大切であることを、確認させる。</p> <p>○「パン屋」の説明文をよんでもらい、意見をもらうことを確認させる。</p> <p>○もらった意見をもとに、改めて文章を練り直す。</p>	<p>【学びに向かう力・人間性】</p> <p>□授業中のノート・ワークシートへの記述や発言を評価する。</p> <p>○「たてもの・作り方」の説明を行い、友達の見聞きをきこうとする姿。</p> <p>【協働的実践力】が発揮している姿</p> <p>□授業中のノート・ワークシートへの記述や発言・活動を評価する。</p> <p>○「たてものもの・作り方」の説明文を相手の立場にたって、表現を工夫している姿。</p>
<p>パンの作り方の説明文を書く。(3 / 5時間)</p> <p>○作り方を書いて、意見をもらう。</p> <p>「作り方」を説明するには、順番が大切だな。</p> <p>どの写真を使えばいいかを考えよう。</p> <p>書いた説明文を、お店の人にみてもらおう。</p> <p>○もらった意見をもとに練り直す。</p> <p>お店の人から「○○」という意見をもらったから、文章を書き直してみたいな。</p> <p>初めてみる人でもわかるように、「□□」という書き始めにするとわかりやすいかな。</p>	<p>○今回の説明文は、パンの「作り方」について説明することをたしかめさせる。</p> <p>○「作り方」を説明するには、順序が大切であることを確認させる。</p> <p>○説明に使う写真の枚数を限定し、説明文を考える。</p> <p>○お店の人に説明したときに伝わりにくかった点を確認し、もう一度「作り方」について考えさせる。</p> <p>○他人に伝わるように、文章の再構成(練り直し)させていく。このとき、なるべく、多くの人に伝わるように、書き方を工夫する。</p>	<p>【思考力・判断力・表現力】</p> <p>□授業中のノート・ワークシートへの記述や発言を評価する。</p> <p>○「たてもの・作り方」の説明文を書くことができる。</p> <p>▲書くことができない。</p> <p>◇必要な手順を焦点化教材などを使って復習させる。</p> <p>【知識・技能】</p> <p>□授業中のノート・ワークシートへの記述や発言を評価する。</p> <p>○「たてもの・作り方」のつくりやはたらきについて考え、それらに関連付けた説明を考えることができる。</p>
<p>パン屋さんを紹介する文章を書く (5時間)</p> <p>○「たてもの」と「作り方」の混ざった文書を書く。</p> <p>「たてもの」の説明文と「作り方」の説明文をつなげて書いてみよう。</p> <p>パンを買いに来てくれる人が増えるように、オリジナルパンの紹介も入れよう。</p>	<p>○「たてもの」と「作り方」の説明文を、つなげて書くことを確認する。</p> <p>○初めてみる人でもわかるように書くことを確認させる。</p> <p>○売っているパンの紹介や、自分たちで作るオリジナルのパンの紹介をいれてもよいことを伝える。</p>	<p>【学びに向かう力・人間性】</p> <p>□授業中のノート・ワークシートへの記述や発言、意見を書こうとする姿勢を評価する。</p> <p>○前時までに学習したことを活かしながら、自分の意見をまとめることができる。</p>

「○○」の紹介しよう2!

言語活動